

島尻の教育目標

幼児児童生徒一人一人の障害の状態及び発達段階や特性に応じた適切な教育を行い、障害による学習上又は生活上の困難を改善・克服し、明るく、たくましく生き抜く力を養うとともに、自立し社会参加できる人間を育成する。

島尻幼稚部の教育目標

- ① 健康な体と豊かな心を育てる。
- ② 身のまわりのことを自分でしようとする態度を育てる。
- ③ 一人でも友だちとも遊べる力を育てる。
- ④ 自分の気持ちをのびのびと表現する力を育てる。

(めざす子ども像)

○げんきであかるい子

○がんばる子

○むちゅうになってあそべる子

○表現する子

幼稚部の特色

○対象…3～5歳児までの異年齢児で構成。

○保護者の保育参加→情緒の安定を図る。適切な親子関係を築く。

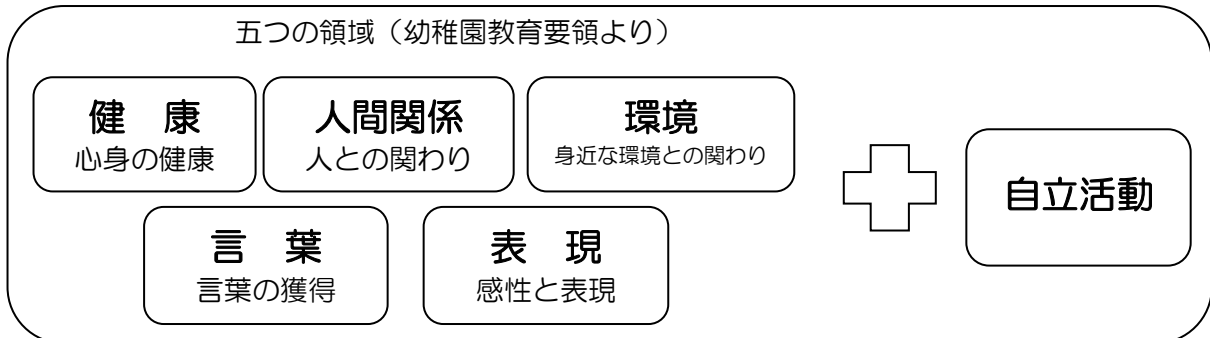
○切れ目のない教育活動。「幼児の生活≒遊び」の中で総合的に支援する。

○早期教育相談

(体験入学、志願前相談、電話相談、巡回相談など)

幼稚部における教育

幼児期における教育は、幼児期の特性を踏まえ、環境を通して行うものであることを基本とする。

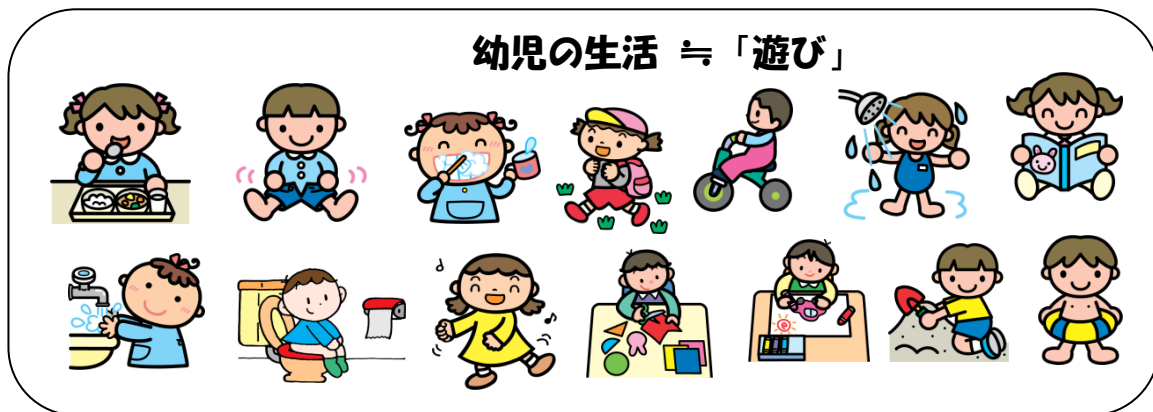


「遊び」を通して、総合的に指導する。

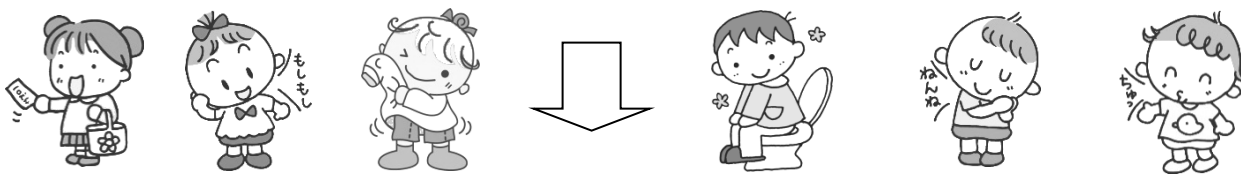
(幼稚部教育要領及び本校教育課程編成の基本方針より)

遊びとは

幼児の活動には、大別して食事、排泄、衣服の着脱など、生活に関する部分と遊びの部分があるが、幼稚部においては、生活に関する部分もすべてを含め、幼児の生活をすべて「遊び」と捉える。

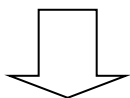


- ★ 幼児の「遊び」は、幼児の発達と密接に関連して現れ、また逆にその「遊び」によって発達が刺激され、助長される。
- ★ 「遊び」の中で幼児は心身全体を働かせて活動することによって、言語や運動などの諸能力を個別にではなく、相互に関連させながら、総合的に発達させていく。
- ★ 幼児の自発的な活動としての「遊び」は、心身の調和のとれた発達の基礎を培う重要な学習である。（幼児は、夢中になって遊ぶ中で、様々な人やものと出会い、様々なことを学んでいく。）



「幼児期の子どもたちにとっての「遊び」(自発的な活動) = 重要な学習」

「遊び」を通して生活全般を総合的に指導する。



一人一人の幼児の笑顔が輝く幼稚部であるために…

人的環境（教師のかかわり）

- ・ 子どもたちの主体性を大切にかかわる。
- ・ 子どもたちの自発的な活動（「遊びたい」という思い）を促すような支援。
- ・ 子どもたちの「遊び」を共有し、気持ちを共感するようにかかわる。

環境づくり

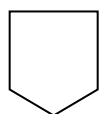
- ・ 子どもたちにとって遊びたくなるような遊具や用具の配置や提供など。
- ・ 子どもたちの遊び心をくすぐるような楽しい雰囲気づくり。
- ・ 満足いくまで遊べるようなたっぷりとした時間の確保。



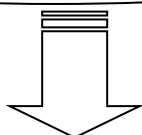
遊びで育つもの

“育つのは子ども、引き出すのはおとな”

「遊 び」
(幼児が自分から取り組み、進めていく遊び)

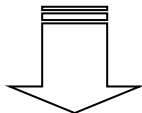


じっくり (満足するまで) 遊ぶ・繰り返し遊ぶ

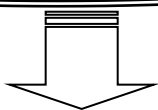


発達の根っこ
(「遊び」の中で育つもの)

- ・運動能力
- ・思考力
- ・表現力
- ・感性
- ・創造性
- ・人への信頼感
- ・周りの人や物と関わる力
- ・心のバランスをとる力 など…



主体的に生き生きと活動する子ども



小学部・小学校の教育へ

☆子どもたちの自発的な活動を促す支援。
☆子どもたちが遊びたくなるような環境づくり。
☆満足するまでたっぷりと遊べる時間の確保。

☆小学部・小学校以降の教育の基盤となるもの
☆生きる力の基礎となるもの



幼稚部 日課表

時刻（目安）	月	火	水	木	金
8:50~	＊登校「おはよう」・「遊び」＊ 【 内容 】 ・靴の脱ぎ履き（左右確認、マジックテープ着脱） ・朝の活動（カバンの片付け、タオルやエプロンを掛ける、連絡帳を出すなど） ・係り活動（健康観察簿やお茶づくり、水やり等） ※幼児の状態に応じて遊びの中で経験できるようにする。 ・リトミック（曲に合わせて身体のいろいろな動きを経験したり、楽しんだりする。） ・あさの会（うた、ダンス、手・指遊び、あいさつ、着席、おへんじハイ！ 今日の日程、パネル・エプロンシアター、読み聞かせ） ・設定遊び（感触遊び、固定遊具遊び、表現遊び、季節や行事に関する遊び、 校外保育、交流保育） ・自由遊び（好きな遊び、自発的な活動） ・自立活動（身体の動き、コミュニケーション、人間関係の形成等） 【 教師の基本姿勢 】 ☆ 興味・関心に基づいた直接的な体験を通し、指導していく。 ☆ 興味・関心をもって自発的に環境にかかわるよう支援する。 ☆ 「遊び」の満足感が味わえるよう、夢中になって遊べる時間を十分に確保できるようにする。 ☆ 夢中になっている「遊び」に応じて、それぞれの幼児にとって魅力的な遊具用具を配置するなど環境（人的、物的、空間的）を構成していく。 ☆ いろいろな心動かす活動を体験する中で、教師も「遊び」を共有・共感し、言葉の理解や表出へとつなげていく。				
11:20~	＊ 楽しい 給食 ＊ ・手洗い ・エプロン着脱 ・給食準備（牛乳運び・ワゴン押し・配膳など） ・いただきます ・食事のマナー ・後片づけ ☆ 『食』への興味・関心を高め、『給食』への楽しみや期待感を高めることができるような明るく楽しい雰囲気をつくる。 ・歯磨き、洗面 ・排泄 ・着替え ➤すべて終わったら、好きな遊びへ移行する時間を保障し、少しずつでも頑張る力を培えるようにする。				
~13:30	＊「遊び」・下校「あしたも元気に！」＊ ・自由遊び ・片付け ・かえりの会（読み聞かせ・うた・ダンス・手・指遊び・1日の振り返り） ・さようなら				

月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
自由遊び 固定遊具遊び	運動遊び (げんきつきタイム)	感触・製作遊び	交流保育(月1~2回) 運動・音楽遊び (プレイルーム)	校外保育
<ul style="list-style-type: none"> ・室内での好きな遊び(積み木、ブロック、ままごと、絵本、手指を使った微細運動遊び) ・室外での遊び(ブランコ、滑り台、三輪車、ハンモック太鼓橋などの遊具遊び) 	<ul style="list-style-type: none"> ・小学部合同リトミック・ラジオ体操、歩く、走るなどの粗大運動遊び 	<ul style="list-style-type: none"> ・素材を用いた遊び(水、土、粉、紙などのいろいろな素材の感触に慣れ親しむ) 	<ul style="list-style-type: none"> ・同年代の友達との場や活動の共有 ・平均台やつり遊具、ボール遊び、かけっこ、リトミック、歌、楽器等を用いた遊び 	<ul style="list-style-type: none"> ・戸外散策、公園での遊具遊び、季節を感じる遊び、買い物など

(H29年度用 ※年度によって変更有)

※一日の中にひとつは設定遊びを取り入れるようにしているが、月～金の活動内容や日課も含め、幼児の興味に応じて変化させたり、別の遊びに切り替えたりと柔軟に対応している。幼稚部教室や中庭以外にも、図書室や運動場、畑等も利用し、様々な活動を試みていく。